



No.47

平成29年10月24日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



若手就農者 溝口智也さん

Contents

再稼働判断	発電所再稼働同意を町長に報告……………	2
決算認定	28年度の決算を認定しました……………	4
9月定例会	補正予算・契約・陳情について審議 ……	6
一般質問	進学サポート事業 など 5人登壇……………	9
追 跡	ウォーキングの健康づくりへの活用は……	14

号機 再稼働に同意 町長に報告

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故を教訓に、平成24年9月に原子力規制委員会が設立され、重大事故発生を防止するための国際的な基準を踏まえた新規制基準が定められました。

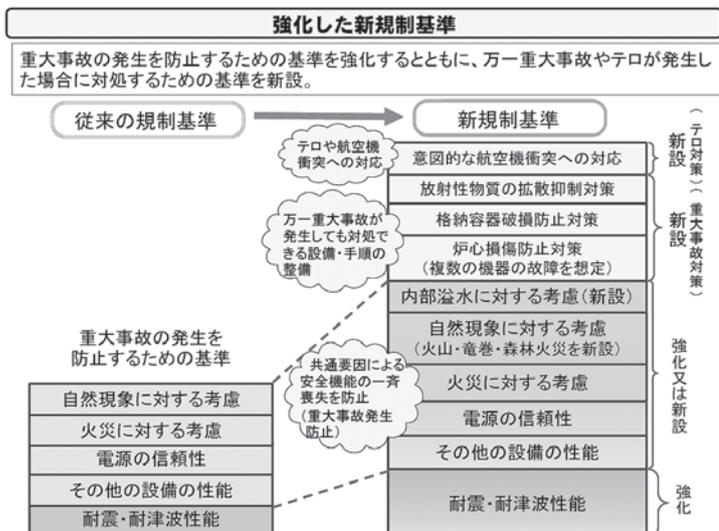
本年5月24日に大飯原子力発電所3・4号炉の原子炉設置変更許可申請の審査書案が承認されたことを受け、6月27日に中塚町長から議会に再稼働の是非を判断するよう要請があり、議会はこの要請に対し、慎重に審議を尽くしてきました。

主な課題に対する審議は以下のとおりです。

● 新規制基準に適合した安全性の確認

原子力規制委員会は平成29年2月22日に、大飯原子力発電所3・4号炉の設置変更許可申請の内容が、新規制基準に適合していることの確認及び、3・4号機の運転により、住民避難等が必要となる重大事故の可能性は極めて低く抑えられていると判断し、審査書案が示されました。

それを受け、議会は3月13日に原子力発電対策特別委員会を開催し、審査書案に対し原子力規制庁より審査の詳細説明を受け、安全性の確認を行いました。



● 国のエネルギー政策における原子力の位置づけや 広域避難等防災対策の確認



原子力災害制圧道路の工事現場を視察し、安全対策や進捗状況などの詳細説明を受け、原子力災害時における対策等について日頃から理解を深めてきました。

また、7月20日に町が実施した原子力政策等に関する町民説明会に出席し、資源エネルギー庁からエネルギー政策での原子力の位置づけ、内閣府から原子力災害時における広域避難等の防災対策、また、事業者からの安全対策への取り組みなどについて、町民と共に理解を深めました。

大飯原子力発電所3・4

9月8日 中塚

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

● 安全対策が講じられた大飯原子力発電所の現場確認

大飯3・4号炉の原子炉設置変更許可申請書が原子力規制委員会に提出されてから、地震や津波に伴う重大事故対策の安全対策工事について、事業者からその時々状況説明を受け、さまざまな安全対策が講じられている現状を理解し、8月31日に最終確認しました。

■ 主な確認活動

- H27. 3. 5 新規基準への対応状況について聞き取り
- H28. 3. 3 審査状況について聞き取り
- H28. 9. 7 審査状況について聞き取り
- H28. 12. 7 安全対策工事について現場視察
- H29. 6. 16 安全性向上対策についての実施状況確認
- H29. 8. 31 安全対策工事について最終現場視察



● 大飯原子力発電所3・4号機の再稼働に対する町民の理解や意思確認

原子力政策等に関する町民説明会や、日頃より議員各自が地域住民から聴取した意見を議会において集約した結果、再稼働に対する町民の理解は概ねなされていると判断しました。

また、町内の各種団体から、「安全安心を最優先とした再稼働に向けた手続きの早期実施についての要望書」が提出されたことも重く受け止めました。

■ 要望書提出団体

- 「おおい町区長連絡協議会」「大島漁業協同組合」「おおい町商工会」
- 「おおい町観光協会」「福井県原子力平和利用協議会 おおい支部」「大島旅館組合」

以上の主な課題に対する審議の結果、大飯原子力発電所3・4号機の再稼働について、中塚町長に同意する旨の報告を行いました。

なお、今後とも原子力政策の理解促進や原子力災害時における防災対策の充実、たゆまぬ安全対策を町として国や県、事業者に強く要請することを申し添えました。



第5回定例会
平成28年度

決算を認定

再稼働判断

決算認定

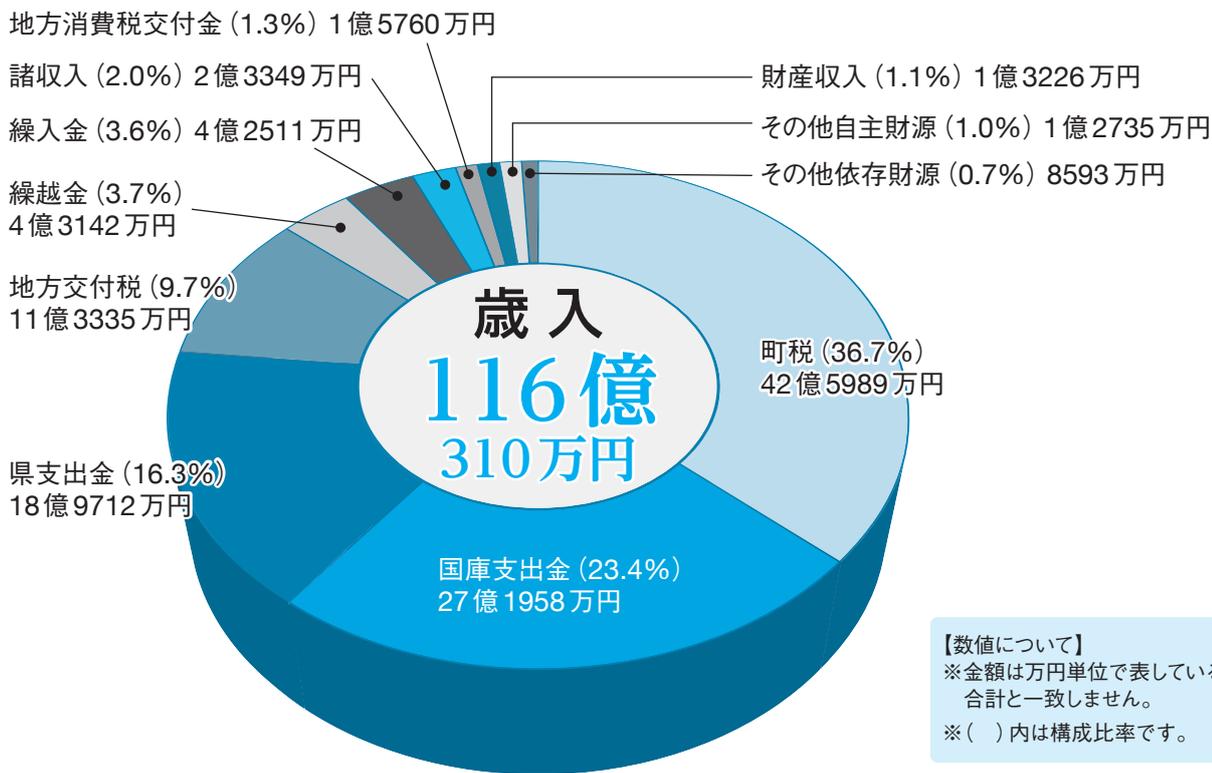
審議内容

一般質問

追跡

活動報告

9月12日から13日にかけて予算決算常任委員会で審議を行い、健全財政であることを確認しました。



歳入

自主財源 48.3%…町が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源
依存財源 51.7%…国県の基準等に基づき交付・割当てられる財源

指標

財政力指数 1.01 基準となる収入額を支出額で割った数値。過去3年間の平均値を指す。1.00を上回れば財源に余裕があるといえる。

特別会計

(単位: 万円)

区分	歳入			歳出			純計額 歳入歳出 差引額
	総額	他会計 繰入金	純計額	総額	他会計 繰出金	純計額	
後期高齢者医療	8,166	2,760	5,406	8,166	0	8,166	△2,760
国民健康保険	100,082	6,844	93,238	100,082	101	99,981	△6,743
国民健康保険診療	9,387	962	8,425	8,976	0	8,976	△551
介護保険	91,635	15,596	76,039	90,478	0	90,478	△14,439
介護サービス	451	118	333	451	0	451	△118
簡易水道	22,067	7,833	14,234	22,067	0	22,067	△7,833
農業集落	36,263	27,093	9,170	36,263	0	36,263	△27,093
特定環境保全公共下水道	17,708	12,535	5,173	15,702	0	15,702	△10,529
合計	285,759	73,741	212,018	282,185	101	282,084	△70,066

※円グラフ、表の金額および%は、各項目で四捨五入しているため合計金額が合わない場合があります。

平成28年度主要事業

●総務費

- FTTH整備事業 2億1461万円
名田庄地域のFTTH化に向けて地下配管路設備及び光ケーブル配線の工事
- 防災対策施設整備事業 1億9236万円
避難道路監視カメラシステムの整備、災害対策用ドローンの購入など

●民生費

- 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 3145万円
- 児童福祉事務 1578万円
本郷第2児童公園の拡大工事など

●衛生費

- 排水路管理事業 3億4297万円
本郷（青戸区・14区）の浸水被害改善施設整備工事及び本郷（7区）の排水改善施設工事を実施
- 清掃センター管理事業 2億929万円
清掃センター長寿命化計画に基づく、焼却炉等の保守点検・補修工事など

●農林水産業費

- 園芸作物生産拡大推進事業 3億8875万円
農業法人等の大規模園芸ハウスの整備に対する支援
- さのこの森管理運営事業 3億6726万円
芝生広場の整備や日よけ施設の設置など

●商工費

- ハケ峰家族旅行村管理事業 2億5579万円
体験型旅行受入施設魅力アップ工事を実施し、全天候型施設などを整備

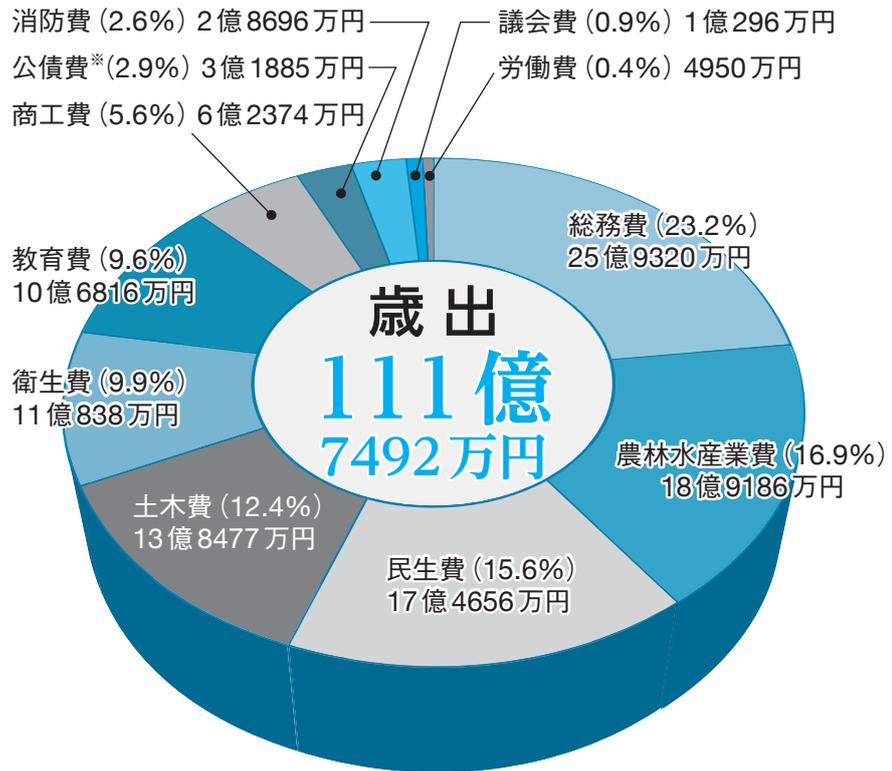
●土木費

- 町営長井住宅整備事業 2億6877万円
老朽化した町営長井住宅・木造平屋建て29棟の建替のため外構整備及び建物基礎工事など
- 橋梁維持補修事業 1億1194万円
名田庄納田終地係の中野橋など4橋の補修工事
- 除雪対策事業 7137万円

●教育費

- 中学校校舎等改修事業 7934万円
名田庄中学校のプールを改修
- 給食センター事業 1億170万円
給湯管・蒸気管・空調設備の改修など

私たちの税金はこの様に使われました



※町の負債の元金や利子の返済に要した経費

支出は

●町民1人あたりの歳出決算額●

(29年3月末の人口8,288人で算出)



合計 134万8326円

平成29年 第5回(9月) 定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	参照先
報告 9	平成28年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告	6ページ
報告 10	平成28年度決算に基づく資金不足比率の報告について	報告	
認定 1	平成28年度一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	
議案 41	平成29年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決	7ページ
議案 42	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	—
議案 43	平成29年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 44	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 45	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	7ページ
議案 46	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 47	平成29年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	—
議案 48	工事請負契約の締結について(総合運動公園野球場人工芝張替工事)	原案可決	7ページ
議案 49	工事請負契約の締結について(大飯清掃センター機器等補修工事)	原案可決	
議案 50	工事請負契約の締結について(放送機器等整備工事)	原案可決	8ページ
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申	
陳情 1	原子力行政の充実と強化を求める意見採択についての陳情書	採択	
陳情 2	地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情書	採択	
陳情 3	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採択	
発委 1	原子力行政の充実と強化を求める意見書について	原案可決	
発委 2	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決	
発委 3	全国森林環境税の創設に関する意見書について	原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	報告および派遣	—

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

第5回例会

平成28年度決算などを審議

審議内容

定例会で付議された、報告2件、認定1件、議案10件、陳情3件、諮問1件を審査した。

報告9号

〔平成28年度決算に基づく
くおおい町健全化判断比率の報告について〕

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率は良好な状態である。

【全会一致・承認】

報告10号

〔平成28年度決算に基づく
くおおい町資金不足比率の報告について〕

簡易水道事業、農業集落排水事業、特定環境保全公共下水道事業特別会計について、資金不足比率は算定されず良好な状態である。

態である。

【全会一致・承認】

平成28年度決算認定

認定1号

〔平成28年度おおい町一般会計および8特別会計歳入歳出決算の認定について〕

【P4からP5参照】

予算決算常任委員会付託
主な質疑

自主防災組織は何
団体組織されたの
か。

現在、25地区に自
主防災組織があ
る。全区の組織化を目標
としている。

ふるさと納税の寄
付額に対する返礼
品と経費の割合はどれく
らいか。

28年度実績で55・
2%となっている。

今後は、経費と合わせ
て50%以下になる予定で
ある。

プロモーション映
像の制作に250
0万円を使っているが、
放送状況と効果はどう
なっているか。

プロモーション映
像は東京と大阪
で放映している。ユー
チューブ動画サイトで
4,744回、ツイッター
SNSで52万回の視聴が
あった。

青戸区と14区の排
水管理事業が完成
しているが、敷地の整備
はどうなっているか。

28年度に景観整備
で設計業務を行っ
たが、整備費用について
29年度は予算計上してい
ない。

■平成29年度9月
補正予算

●議案41号

〔平成29年度おおい町一般会計補正予算第3号〕

☆1億1734万4千円

増額

〔主な歳出内容〕

○子育て支援医療費助成事業

30年度より県内医療機関での医療費窓口負担が不要となるため、システムの改修を行うもの。

420万円
○一次産業スタート支援事業

旧大島公民館の改修工事で、空調設備の改修を追加するもの

1608万円

○収益性の高い水田農業経営確立支援事業

犬見地区において、収益性の高い農業経営への転換を図るため、ブドウ栽培用ハウス、資機材格納庫等を整備するもの。

767万円
○県単林道改良事業

林道谷生大滝線、楨谷線において舗装工事を行うもの。

1200万円

○急傾斜地崩壊対策事業

畑村地区、福谷地区の急傾斜地において、崩落の危険があるため対策工事を行うもの。

630万円

予算決算常任委員会付託
主な質疑

子育て支援医療費助成で、窓口無料

化に伴う国からのペナルティによる町の負担はどうなるのか。

国保に関して、30年度より未就学児

においては、国からのペナルティはなくなる。中学生までのペナルティ分は県が負担する。

収益性の高い水田農業経営確立支援事業を活用し、ブドウ栽培

培ハウスや資機材倉庫などを整備し、売り上げ目標1000万円を目指す

とあるが、達成する目標年度はいつか。

ブドウ栽培だけでなく、その他の

果樹を含めての売り上げ

目標であり、33年度を目標としている。

【全会一致・可決】

●議案第45号

〔平成29年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算第2号〕

○簡易水道施設管理事業

東部中継ポンプ場の計装設備の更新及び、大津呂浄水場増圧ポンプの取り替えを行うもの。

270万円

【全会一致・可決】

●議案第46号

〔平成29年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号〕

○排水処理施設改良事業

川上地区の県道において、道路拡幅のため上下水道管の布設替えを行うもの。

314万円

予算決算常任委員会付託

主な質疑

上下水道管の布設替えで、上下水道管の距離が短くなるのはなぜか。

道路拡幅で民家が立ち退きとなり、必要なくなるため。

【全会一致・可決】

●議案48号

〔工事請負契約締結（総合運動公園野球場人工芝張替工事）〕

総合運動公園野球場の人工芝の経年劣化に伴い、人工芝8641.7㎡の張替工事を行うもの。

・契約の相手方

（株）荒木

・契約金額

2億2307万4千円

総務常任委員会付託
主な質疑

人工芝の耐久性は。

一般的な耐用年数は7年から10年が目安だが、より長持ちさせる使用方法などを管理者と検討する。

野球場の沈下部分やブルペン・ベンチ周りの段差等は、今回は補修対象としないのか。

2聖ベース周辺の沈下部分は今回補修予定である。来年の団体開催にあたり、県や郡の軟式野球連盟からの指摘箇所はすでに補修しており、国体への影響はない。

【全会一致・可決】

●議案49号

〔工事請負契約締結（大飯清掃センター機器等補修工事）〕

大飯清掃センターの築炉設備のガス冷却室の更新及び通風設備の機器更新などを行うもの。

・契約の相手方

（株）タフマ

・契約金額

9180万円

産業建設常任委員会付託
主な質疑

工事はいつ完了するののか。



人工芝を張り替える野球場

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

答 平成30年3月23日までとしている。

問 2炉とも停止する期間はどのように対応するのか。

答 3週間を見込んでいます。停止期間中のごみは、ピット内に貯めておくため、収集や受け入れを中止することはない。

問 広域行政事務組合のごみ処理施設が完成するまでの間に、修繕工事を発注することはないので。

答 長寿命化計画に基づき今後も修繕を予定している。

【全会一致・可決】



大飯清掃センター

●議案50号

【工事請負契約締結（放送機器等整備工事）】

名田庄地域のテレビ放送設備構築のため、iネットぴあプラザの放送機器設備の一部更新と、名田庄中継基地の放送機器設備の整備を行うもの。

・契約の相手方

パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)北陸社

・契約金額

4968万円

総務常任委員会付託
主な質疑

問 回線を二重化する理由とその切り替えはどのような時にどこで行うのか。

答 通常時、放送波の送信は石山経由のメインルートで行い、事故や光ケーブルの断線などの際は、名田庄中継基地で小浜市経由のサブルートへ切り替える。

【全会一致・可決】



iネットぴあプラザ内の放送機器

●陳情1号

【原子力行政の充実と強化を求める意見書採択についての陳情書】

原子力規制行政をなお一層充実させ、原子力に対する国民の理解を広く促しながら、明るい日本の未来を築いていくことを求めるため、政府関係機関に意見書を提出してもらいたいというもの。

【賛成多数・採択】

●陳情2号

【地方財政の充実・強化を求める意見書採択の陳情書】

30年度の政府予算と地方財政の検討は、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立と実現を求め、政府関係機関に意見書を提出してもらいたいというもの。

【全会一致・採択】

●陳情第3号

【全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情書について】

森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるため、「全国森林環境税」の一日も早い導入を求めるため、政府関係機関に意見書を提出してもらいたいというもの。

【全会一致・採択】

●諮問1号

【人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて】

人権擁護委員を新たに法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を聴くもの。

【推薦】

名田庄三重
上馬 清隆氏

【全会一致・承認】

●発委第1号

【原子力行政の充実と強化を求める意見書について】

原子力行政の充実と強化を求める意見書を提出するもの。

【賛成多数・採択】

●発委第2号

【地方財政の充実・強化を求める意見書について】

地方財政の充実・強化を求める意見書を提出するもの。

【全会一致・採択】

●発委第3号

【全国森林環境税の創設に関する意見書について】

全国森林環境税の創設を求める意見書を提出するもの。

【全会一致・採択】

9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

「おおい町進学サポート事業」の具体的な内容は

町長 国の動向を見ながら効果的・継続的な制度の内容を検討している



原田 和美

図ろうとするもので、現在、最も効果的で継続的に実施できる制度の検討をしているところである。一方、大学奨学金の拡

充や大学授業料の出世払い制度等、新たな国の政策が検討されていること

問 昨年3月に策定された「おおい町未来創生戦略」の中で計画された、進学する若者を対象にした町独自の学資

答 (町長) この事業は、大学や短大等へ進学する学生を対象に、町独自の支援制度を創設し、将来的な若者の定住促進と経済的支援を

問 町長が考える町独自の支援制度とは、奨学金制度の創設か。

答 (町長) 進学する

場合の支援と、返済時のサポートについての検討を行っている。国・県・大学の支援制度もあることから、そこから漏れるところへの支援

の在り方を考えていく。学費に限定せず、住居など生活面からの支援も含め幅広く制度に盛り込むことも検討していく。

問 この事業の開始時期については、第2次総合計画の中期振興

答 (町長) 早期に実施したい思いはあるが、国や県、大学などのさまざまな支援制度との検討をしっかりと行い町の制度設計を行うことが必要であることから、十分な検討を行い、計画に挙げた平成31年度より遅

れることのないようにしたいと考えている。

問 既に奨学金を借りて進学している学生が、町にUターンする

答 (町長) おおい町進学サポート事業については、学生が町にU・インターンする場合に奨学金の返済を助成することも挙げているが、国の制度との関連があり動向を見守っている。返済支援については効果的に利用しやすい制度を構築していきたい。

問 U・インターン者を対象にするという

答 (町長) U・インターン者への返済支援は、移住定住の促進、町の活性化に繋がるものと

考えており、一体的に制度を構築する考えである。

問 返済に対する支援の実施を、早める

答 (町長) 返済支援制度については様々な課題があることから、十分な検討を行い、制度の構築を進めて、制度ができ次第実施していきたいと考えている。

問 進学サポート事業の担当は、今後学校教育課が行うのか。

答 (町長) この事業には、学校教育課の側面、総合政策課の側面があり、それぞれが合同で連携を持ち事業を実施していく。



日本学生支援機構の奨学金ガイド

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

農地集積の進捗状況と今後の計画について

町長 約107ヘクタールの農地が集積され
本年度は4集落で計画している



藤原 義隆

問 集積を進める中で
見えてきた課題は。

答 (農林水産振興課長)
区画が狭い、基盤
整備がされていない、離
れた場所にあるなど、条
件面で不利な圃場をどの
ようにすべきかが大きな
課題である。

問 国は持続可能な強
い農業を構築する
ため、農地中間管理機構
を活用し、農地の集積、
集約化を進めてきたが、
本町においての進捗状況
と、今後の計画は。

答 (町長) 平成28年
度までに11集落で
107ヘクタールの農地
が集積された。本年度の
計画として4集落で説明
会を開き協議を進めてい
る。今後も将来の農業の
あり方も含め地域の要望
に対して、適宜対応して
いく。

問 集積を進める中で
見えてきた課題は。

答 (農林水産振興課長)
区画が狭い、基盤
整備がされていない、離
れた場所にあるなど、条
件面で不利な圃場をどの
ようにすべきかが大きな
課題である。

問 国は持続可能な強
い農業を構築する
ため、農地中間管理機構
を活用し、農地の集積、
集約化を進めてきたが、
本町においての進捗状況
と、今後の計画は。

答 (町長) 平成28年
度までに11集落で
107ヘクタールの農地
が集積された。本年度の
計画として4集落で説明
会を開き協議を進めてい
る。今後も将来の農業の
あり方も含め地域の要望
に対して、適宜対応して
いく。

ワイン醸造施設を 整備出来ないか

問 町では大型園芸ハ
ウスの整備事業を
実施しておりブドウ栽培
農家も増えてきている。
そうした中、県では中山
間地の活性化を目的に
様々な支援体制を整え、
ワイン醸造の整備を支援
するとしている。集積の
困難な条件不利地で手間
の掛らないワイン用のブ

答 (町長) 条件不利
地の効率化、園芸
作物の高付加価値化も併
せてしっかりと検討して
いく。

減反政策について

問 平成30年度から、
減反政策が見直さ
れ、減反協力農家に支払
われてきた10アール当た
り7500円の交付金が
廃止されるため、収益性
の低下が危惧されるが、
町としての対応策はある
のか。

答 (農林水産振興課長)
県の「ふくいの農
業基本計画」をもとに、
農家の生産意欲向上や所
得確保に向けて、現行制
度を有効活用し支援して
いく。

答 (農林水産振興課長)
町の農業再生協議
会で生産数量を示し、減
反について協力を求めて
いく。

また、農家の所得維
持、確保については担い
手育成支援や生産規模拡
大による設備導入に支援
するなど、既存の農業支
援制度の見直しや拡充を
図る。

問 減反も維持でき、
所得も向上する施
策として、1年目にコム、
2年目には麦やそばを栽
培するなど2年で3作物
を栽培する施策を拡大で
きかないか。

答 (農林水産振興課長)
県の「ふくいの農
業基本計画」をもとに、
農家の生産意欲向上や所
得確保に向けて、現行制
度を有効活用し支援して
いく。

「いちほまれ」の 生産予定は

問 ブランド米「いち
ほまれ」の生産を
今年の600トンから来
年は3500〜4000
トンとしているが、本町
での生産予定は。

答 (農林水産振興課長)
今年度はJA若狭
管内で30ヘクタールの生
産配分を受け、本町では
4ヘクタールを一定の条
件を満たす4農家や法人
が生産している。平成30
年度の配分などの詳細に
ついてはまだ公表されて
いない。

進めていく。

画家故渡辺淳先生 の追憶について

問 渡辺淳先生の「人
を愛し 自然を愛
し 町を愛する」そんな
先生の想いを今後どのよ
うに生かされるのか。

答 (町長) 渡辺淳先
生には、町の文
化、芸術の発展に大きく
貢献された。絵画はもと
より添えられた画文は先
生の郷土愛、人柄が偲ば
れる。今後、町内の施設
を渡辺淳ギャラリーと位
置づけ展示作品を入れ替
えながらその功績を偲ん
でいただく予定である。



答 (農林水産振興課長)
さまざまな助成事
業についても今後、地域
や農家等と相談しながら

再稼働同意判断にあたり、国の姿勢をどのように確認するのか

町長 町の思いや課題を国の責任ある方に伝え確認する



森内 正美

問

町長は、大飯3・4号機再稼働の同意判断に当たり、4項目掲げている。その中の一つに、国の原子力政策に対する取り組みや方針を確認するということだが、具体的な確認事項は。

答

(町長) 再稼働への理解判断に当たり、(1)町民の理解 (2)議会の判断 (3)事業者の姿勢確認 (4)国の姿勢確認の4項目を掲げ取り組んできた。

国の姿勢確認について

具体的には、①原子力の重要性や必要性に対する国民理解の促進 ②使用済み核燃料中間貯蔵等課題の早期克服 ③立地地域の活性化に向けた振興策 ④広域避難計画の実効性の強化 ⑤原子力防災対策への人的・財政的支援 ⑥関係機関との調整及び連携強化を強く要請し、町の思いを直接、国の責任ある立場の方に伝え、姿勢を確認する。

問

資源エネルギー庁が来年3月までにエネルギー基本計画の見直しをするが、町としてこれだけは盛り込んでほしいという事項はあるか。

答

(町長) 現行のエネルギー基本計画にも、万が一事故が起きた場合には国が一元責任を持ち、関係法令に基づき対処すると記載されているが、見直しがあっても踏襲されるべきと考えられる。

問

町づくり指標として「学校に行くことが楽しいと思う児童生徒の割合」が示されている。本町の基準値は、全国の基準値と比べてどの程度か。

第2次おい町総合計画のうち学校教育の充実について伺う

答

(学校教育課長) 本町の学校に行くことが楽しいと思う児童生徒の割合の2015年度基準値は60.3%。全国の公立小、中学校の平均は51.4%であり、福井県の平均は54.2%となっている。

問

どのような内容の設問か。
(学校教育課長) 設問は「学校に行くのは楽しいか」という項目で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「そう思わない」の中から選択する。「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」かといえ、そう思う」を合わせると89.2%が学校に行くことが楽しいと回答している。

問

基準値の分析は行ったのか。
(学校教育課長) 基準値の分析につ

答

問

2021年の目標値80%を達成するために、具体的に何をやるのか。
(教育長) 「どちらかといえば、そう思わない」の回答が10.7%あったことから、これを改善するために①総合教育会議による教育行政の充実 ②町単独講師の配置や、いじめ未然防止や解決の継続的な取り組みなど「確かな学力」と「生きる力」の育成 ③学校間の交流や英語指導助手の配置など、特色のある教育の推進 ④ICT教

答

育機器の整備など教育環境の整備に今後も積極的に取り組む。
本町のような小さい町では、他の町にはない特色のある教育の推進、取り組みが大事である。小中一貫教育、小中連携などの取り組みを実施している自治体も出てきている。教育長の考えは。
(教育長) 小学校、中学校の全教員で組織している「おい町学校教育研究会」のなかで、学校間の連携について話し合っている。小中一貫教育については大きい課題であり、メリット、デメリット等検討していく必要がある。

問

いでは、教科別と生活習慣、学習環境について行っており、ホームページに掲載し公表している。学校ごとでも分析しておりその結果は、対象児童、生徒の保護者に町の分析結果と併せて配布している。

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

じねんじよの生産拡大を

町長 生産組合と協力しながら課題解決に向けて
しっかりと取り組む



猿橋 啓一

問 じねんじよの品不足を解消するため、じねんじよで町おこしをするという決意で、生産組合と行政が連携して、新規栽培者の拡大策や増産計画を立てるべきであると考えるが。

答 (町長) 平成27年度に「自然薯生産者育成支援事業」を創設し種芋や栽培パイプ等の助成を行ってきた。また、生産組合の協力のもと、体験農園を本郷地区と名田庄三重地区に整備し、大学生や若者による

収穫体験、農園管理などを通じて、後継者育成の取り組みが徐々に浸透している。
さらに、本郷の県道沿いにPR用の看板を設置し、新規の生産者を確保するための取り組みを進めている。今後とも、生産組合と協力しながら課題解決に向けて取り組む。本郷の「じねんじよつくる」のPR看板は、誰に訴えているのか。



本郷県道沿いのPR看板

答 (農林水産振興課長) 町民の皆様が町がじねんじよ栽培を推進していることを訴えている。
問 「自然女」作戦で女性の参加を計画しているが、本郷の体験農園では女性の姿を見ることがないが。

答 (農林水産振興課長) 収穫時の参加を考えている。
問 地元の人を対象にPRすべきである。じねんじよは猿も食わず、米より付加価値が高い。この冬講習会を開催し、来春に植える計画をすべきである。

答 (町長) 生産拡大には地元が大事なので、しっかりと取り組むたい。

問 3年、5年後に5万本になると冷蔵庫や溝堀機が必要になるが、これらの課題を解決するため、組合と行政が連携した検討会を立ち上げるべきである。
答 (町長) 生産拡大のためには、重要な部分である。組合などの意見や検討会も含めて、しっかりと取り組みたい。

問 じねんじよの定番はとろろ汁である。今年の冬、期間限定で地元の経済を活性化するため、規格外のいもを使ってとろろ汁を出してはどうか。
答 (農林水産振興課長) とろろ汁は、名田庄商会で、検討している。今後、味付けや提供方法などを検討・協議する必要がある。

問 この冬、ぜひ出してはどうか。
答 (町長) 早期の具現化に向けて検討する。

問 6次産業化の拡大を
答 小さいむかごを販売しているが、炊き込みご飯の具にするなど商品化の拡大を図るべきでは。
問 (農林水産振興課長) 今後も新商品の開発を進めていきたい。
問 ふるさと納税について
答 平成28年度の「ふるさと納税寄付金」が4427万7千円となっているが、増額となった理由は何か。

答 (総務課長) 1位は米で65%。2位は真珠製品で11.8%。3位はみそ・梅で10.8%。

問 返礼品の売上金額が多い順位は。
答 (総務課長) 1位は米で65%。2位は真珠製品で11.8%。3位はみそ・梅で10.8%。

スポーツの振興・イベントを活用し町の活性化を

町長 豊富なスポーツ施設活用し、人や地域の交流で地域の一体感や活力を醸成し活性化につなげたい



尾谷 和枝

問

スポーツの振興や、イベントによる町の活性化の観点からの所見は。

答

(町長) 第2次おい町総合計画では、スポーツ合宿の誘致やスポーツイベントを通じた交流の活性化を重点目標と掲げている。豊富なスポーツ施設を活用し、人や地域の交流で地域の一体感や活力を醸成し活性化につなげたい。

問

老人会のブランドゴルフクラブ等の小学校家庭利用について、地域スポーツの推進と施設管理の有効利用や世代間交流の観点からも全町的に後押ししてはどうか。

答

(教育長) 学校の授業等に支障がなく安全が確保できれば良い手だてと思う。

問

大学生との連携として、政策コンテンツの中に、スポーツ振興によるまちづくり項目の追加や、小中学生への指導や交流会依頼を掲げているかどうか。

答

(町長) そういった視点で継続的に案内をすることも必要と

思う。

問

町内施設での試合について、スポーツ観戦需要があるため、ホームページなどで広報しては。

答

(商工観光振興課長) これまでそのような捉え方をしていなかった。今後積極的に行っていくきたい。

スポーツ推進室を設置しては

問

国体や東京五輪を契機としたスポーツを通じた強みと可能性は。

答

(教育長) スポーツの最高峰を身近で体感できる絶好の機会となり、多くの町民の関

わりで意識の向上が期待できる。

地域に根差したスポーツの振興が図られるよう取り組む。

問

イベントを一過性のものとせず、先のイメージを見据えた仕組みづくりや人材づくりが必要である。スポーツの町として、各課にまたがるスポーツ関係施策やイベントを、横連携で積極的に進めるスポーツ推進室・推進課などを設置してはどうか。

答

(町長) 各課横断的に連携し施策を起こしていくのは必要な視点である。今後の課題としたい。

アスリートの育成について

問

有望な選手の輩出について、選手の育成や競技環境の整備、支援などへの考えは。

答

(教育長) スポーツ少年団の育成に積極的に取り組んでおり、全国大会等のスポーツ大会に出場するジュニアアスリート育成としても費用を助成している。また、体育協会ではアスリートを招へいし実技指導や講演会、審判取得費用などへの助成をしている。

答

(教育長) スポーツ少年団の育成に積極的に取り組んでおり、全国大会等のスポーツ大会に出場するジュニアアスリート育成としても費用を助成している。また、体育協会ではアスリートを招へいし実技指導や講演会、審判取得費用などへの助成をしている。

問

優秀な指導者の確保も必要である。町内の施設において人材流出とならないよう把握や環境整備が必要では。

答

(町長) 個人的事情を取り組む手だてがあればしっかりと対応しなければならぬと思っている。

選手育成には、スポ少、中学校、社会体育団体などの連携や、指導が必要であるが、中学校の部活動外部指導員制度化の方向性は。

問

選手育成には、スポ少、中学校、社会体育団体などの連携や、指導が必要であるが、中学校の部活動外部指導員制度化の方向性は。

答

(町長) その観点からのアプローチはしていなかった。しっかりと検討し有効に活用したいと思う。

答

(教育長) 町内、近隣で人材を探しているが見つかっていない。今後、制度に則り活用していきたいと考えている。

「チームおおい」の結成を

問

優秀選手表彰や、アスリート助成をうけた選手などで構成する「チームおおい」の結成を提案する。更なる育成強化の対象としたり、選手のやる気を引き出し町にとっては認知度を上げることもなる。名簿化することで、将来は育成やイベントに関わる声掛けができ、指導者となる可能性もあると考えるかどうか。

答

(町長) その観点からのアプローチはしていなかった。しっかりと検討し有効に活用したいと思う。

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように反映されたかを、追跡調査してみました。

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告



急傾斜地等の今後の整備計画は

急傾斜地等危険区域の今後の整備計画は。
(平成28年12月議会 藤原義隆 議員)

建設課長答弁

国や県に強く要請していく

崩壊対策工事を実施できるように、国や県に事業採択されるよう強く要請していく。

どうなった？

国・県の事業採択により工事を実施

急傾斜地崩壊対策事業の採択により、平成29年9月補正予算で予算が計上された。



対策工事が進む大島畑村地係の急傾斜地



路面標示されたウォーキングコース



ウォーキング人気の高まりを総合的に活用しては

ウォーキングコースを指定し、マップで紹介、健康づくり・観光・登下校に併せた見守り防犯など、総合的活用や町の魅力発信につなげては。
(平成27年6月議会 尾谷 議員)

町長答弁

大変興味深い。検討を進めたい

健康増進と、見守り防犯活動への結びは大変興味深い。聞き取りや、内部での検討を進め、今後の課題としたい。

どうなった？

「健康ロード」を指定し、健康づくり支援へ

町内に9つのウォーキングコースが設定された。ウォーキングルートマップを作成し、ロードを活用した健康づくりの支援へ。

議会活動報告

■若狭広域行政事務組合が設立

人口減少・少子高齢化の進行や自治体の財政状況がますます厳しくなる中、市町個々の対応には限界があり、広域連携により、持続的に発展することが出来る地域を目指して組合が平成29年6月1日に設立されました。

組合の概要

○構成団体

小浜市、高浜町、おおい町、若狭町

○組合の議会

議員定数 12名(各市町より3名)

○管理者

小浜市長 松崎晃治

○事務を共同処理する事項

- (1)可燃ごみ処理施設の設置、管理および運営に関する事
- (2)要介護認定に係る審査および判定に関する事

- (3)広域斎場、リサイクル施設および埋立て処分場など広域的課題の調査研究

■第1回若狭広域行政事務組合議会臨時会開催

組合設立を受け8月1日に初議会が開催され、本町から組合議員が出席しました。

審議内容は発議4件、承認3件、議案9件で全件承認、可決されました。



議会と話そう

第11回議会報告会を開催します

おおい町議会では、町民との意見交換を行い、議会の運営改善と政策立案に生かすため、また、町民に開かれた議会を目指すため議会報告会を開催します。

皆さまの意見をお聞かせください。

【内容】

- ① 町議会の活動報告
- ② 意見交換

議会報告会に参加、議会傍聴で10ポイントをGet!



平成29年 11月7日 (火)

19時30分～21時00分

【場所(2会場)】

- ・はまかせ交流センター(大島)
- ・ふるさと交流センター(鹿野)

平成29年 11月8日 (水)

19時30分～21時00分

【場所(2会場)】

- ・総合町民センター(本郷)
- ・里山文化交流センター(名田庄久坂)

再稼働判断

決算認定

審議内容

一般質問

追跡

活動報告

輝く

イケメン認定就農者

久坂区 溝口智也さん



今回の輝く人は、名田庄地区で農業を営む若手就農者で、農業委員会委員の溝口智也さんをご紹介します。

Q 県外からUターンするきっかけは？

A 建築の設計関係の仕事をしていましたが、都

会の慌ただしさが合わず田舎で自分のやりたいことをしたくなり、帰郷を決心しました。

Q 農業を始めようとしたきっかけは？

A 新しい農業経営を行うカリスマ農家との出会いがきっかけで、地域と

密接に関わりながら営む農業に魅力を感じ生まれ育った地域に役立ちたいと思い、農業を始めました。

Q 現在どのような作物を栽培していますか？

A 主にブドウの栽培で、品種は「サニール」「ジュ」「藤稔」「シャインマスカット」の3種類で、他にナス・キュウリ・大根の栽培をしています。

Q ブドウの栽培で気をつけることや苦労することは？

A 大きく育てるためにはフサ作りが重要で、管理を怠ると収穫に影響が出てきます。

Q このブドウはどこで買うことができますか？

A 「道の駅うみんぴあ」に出荷してい



● 発行：福井県おおい町議会
● 発行責任者：議長 沢上 隆一
● 編集：議会広報特別委員会

議会の傍聴にござんせ

行政ポイント 10P
発行事業です

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。今回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

12月定例会
の予定

会 期：12月5日から19日まで（15日間）
本会議：5日（議案提案理由説明）、14日（一般質問）、19日（採決）
委員会：予算決算委員会（5日）、総務・産業建設委員会（7日）、
原子力発電対策委員会（11日） ※日程は変更となる場合があります。

● 編集後記 ●

暑い夏も遠く過ぎ去り肌寒い秋がきました。四季折々の彩が楽しめるおおい町ですが、秋はさまざまな実りへの感謝を感じる、ひととき嬉しい季節でもあります。

さて、おおい町議会は6月以降、大飯発電所3・4号機の再稼働という、町にとつての大きな問題について判断を求められました。

議員一人一人が、真剣に考え、聞き、意見を述べ、おおい町議会としての判断となりました。

詳細につきましては、2・3ページに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

使用済み燃料、広域避難等々、課題は多くあります。議会としては、今後も引き続き、国・県・町・事業者に、絶対の安全を強く求めてまいります。（原田 記）

広報特別委員会

委員長 細川 正博
副委員長 原田 和美
委員 尾谷 和枝
辻 徹
藤原 義隆
早川 正巳